

# 試

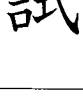
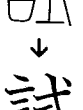
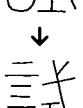
四年

筆順

言 訃 訃 試

クシ ころろみる・ためみる

成り立ち



「形式(型)」の意味を表した「式(3年316)」と、言うという意味の「言」とを組み合わせて作った字です。

「形式にしたがって言ってみる」ことを表した字で、「ためし」に言ってみる」という意味の字です。

「ためす(こころみる)」という意味に使われます。例  
試験、試合、試作(品)。

〔音のシは、「式」の音のキがおちたもの〕

使い方

▽ある溶液がアルカリ性か酸性かを試すには、リトマス試験紙をつかいます。青いリトマス試験紙を酸性の溶液にひたすと、赤くなります。赤いリトマス試験紙をアルカリ性の溶液にひたすと、青くなります。

▽ボールをゴールに入れようと、何回も試みましたが、とうとう一回も入りませんでした。

熟語例

▽試験(物の性質や力などを試すこと。また、学力などを試すために、問題を出して答えさせることをいいます。)

▽試合(競技などで、互いに力くらべをすること。「柔道の試合で、初段の人が二段の人を負かしました」などというふうには、つかいません。)

▽試作(試みに作ってみること。「これは、まだ試作品ですが、なかなか良くできています」などというふうには、つかいません。)

▽試食(試しに食べてみることに。「新しい果物の試食会があつて、行ってみたが、たいへん良い味だった」などというふうには、つかいません。)

使い方

▽道で、幼児を連れている女のひととであいました。その子は、アイスクリームを食べたいと、だだをこねていました。幼い子供が泣いていると、たいていはかわいそうだと思いますが、だだをこねて泣いている時だけは、うんざりして、かわいそうだななどは、ちっとも思いません。

▽戦国時代の風雲児。織田信長の本を読みました。小さな国の国主の息子に生まれながら、まわりの大国と戦つて、もう一息で日本を統一するところまで行った織田信長は、すごい人だつたと思います。

熟語例

▽幼児(幼い子供)

▽児童(子供。とくに、小学生のことを言います。)

▽健児(健康な若者。血気盛んな若者。校歌などに、よく「〇〇の健児」などと出て来ます。)

▽風雲児(風雲に乗って活躍する若者。伝説に、竜が雲に乗って天に舞い上がるというものがありますが、英雄が時を得て大活躍するのを、この竜にたとえて、「風雲に乗る」というように言ったものです。)

# 児

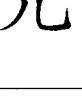
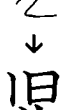
四年

筆順

1 旧 児

オン シ・ニ

成り立ち



もとは「兒」で、頭が体にくらべて大きく見える「おさな子」を表した字です。

「おさな子」、または「子ども」という意味を表した字で、「幼児」、または「児童」などと使われます。

また、「わかもの(若者)」の意味にも使われます。例  
健児、風雲児。